

野庭の風

野庭地域ケアプラザ広報紙
「野庭の風」 第 103 号
令和 3 年 11 月 20 日発行

発行:社会福祉法人 ひまわり福祉会 横浜市野庭地域ケアプラザ
横浜市港南区野庭町612番地 TEL:045(848)0111 発行責任者 所長 長堀 幸平

地域交流コーディネーターからのお知らせ

下記へのお問い合わせは
☎ 848-0111 岸本 まで

10月の『にこにこ野庭サロン』ではデイサービスの皆さんからアイデアを頂いて、しおり作りを行いました。

ケアプラザを知ってもらおうという意味を込めて皆さんにたくさんのしおりを作成して頂きました。切手を再利用した台紙に、裏面にはケアプラザの電話番号を載せています。相談したいことがあったらこのしおりを見てお電話くださいね。ひまわりホルダーのような緊急時の活用はできません。ご注意ください。私たちが皆様の活動へ持参することもあるかと思います。ご希望の方は**地域交流コーディネーターの岸本**や**生活支援コーディネーターの黒澤**にぜひ声を掛けてください。



にこにこ野庭サロン



11月25日(木)

午後1時30分～午後2時45分
野庭地域ケアプラザ 多目的ホールにて
みんなで楽しい時間を過ごしましょう♪



*参加申込み

11月1日(月)9時から

お電話またはご来館にて

(先着 15 名)参加費 100円

●12月はお休みです

○バス新路線 188 系統～バスの旅～

○講話「元気なうちから老い支度」

～在宅医療相談室～

～安全に参加していただくための皆さんへのお願い～

※上履き、水分補給の飲み物をご持参ください。

※ご自宅での検温、開催中はマスクの着用をお願い致します。

生活支援コーディネーターからのお知らせ

下記へのお問い合わせは
☎ 848-0111 黒澤 まで

番外編

見守り協力事業者さん紹介コーナー！！

こんにちは。生活支援コーディネーターの黒澤です。
今回は、番外編ということで見守り協力事業者さんの紹介をさせて頂いている「見守り通信」第6号が発行されました。
野庭エリアでは前回の第5号で特集をしていますので紙面をご希望の方はケアプラザまでご連絡ください。

特別なことをするわけではなく、
ちょっと気に掛ける、
様子を見る、
だけでも見守りです。
引き続き協力事業者さんを募集しています！！



第6号



地域包括支援センターからのお知らせ

お問合せ
お申し込み

地域包括支援センター
☎ 045-848-0111

『いつまでも歩ける体づくり講座』

関節痛予防改善体操

肩

腰

膝

日時：令和4年1月14日(金) 10時～11時30分

野庭地域ケアプラザ 多目的ホール

参加費 無料 定員 先着 10名

対象者 おおむね60歳以上の方

持ち物 運動のできる服装、マスク、飲み物、タオル、うわばき

★申し込み★

12月10日(金)9時から

お電話にて

お申込み下さい

なごみの会

(介護者のつどい)

介護をされている方

介護に興味のある方

介護者同士の交流と情報交換の場に参加して“ほっとひといき”しませんか？

12月21日(火) 10:00～11:30 場所：野庭地域ケアプラザ多目的ホール

次回：令和4年1月はお休みです

※ご興味のある方、ご見学だけでも構いません。お気軽にお越しください。

「認知症とは」

生活習慣病と認知症予防シリーズ④「治療は？」

最終回

(全7回シリーズ)

執筆 鈴木ゆめ

横浜市立大学附属

市民総合医療センター

一般内科教授・部長



＜認知症を診断する意味＞ 脳の中のよくない蛋白を分解したり、溜まらないようにしたりする根治薬はまだありませんが、認知症専門医が診断に躍起になるのは、脳の声なき声を聞きつけて、まずは原因になっている体の不具合を見つけだすことです。

また、もの覚えの障害を主症状とするアルツハイマー型認知症と、幻覚や体の動かしにくさを特徴とするレビー小体型認知症、イライラが先行する前頭側頭葉変性症では、お薬の使い方も周囲の対処も異なります。そのために正確な診断が重要になります。



＜治らないのに薬？＞ 治らないのに、なんで薬があるの？とお思いかもしれません。現在使われている抗認知症薬は、いずれもアセチルコリンを分解する酵素を阻害して、その減少を防ぎ、残っている脳細胞が働きやすいようにするお薬です。また、実生活で

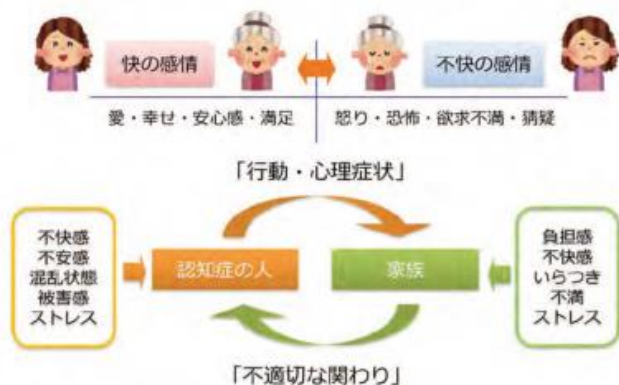
問題になるのは物忘れや計算ができないといった認知機能の低下自体より、伴って表れる行動や感情のさまざまな異常、例えば焦りや拒否、引きこもりなどです。これらを周辺症状と呼びます。周辺症状を和らげるお薬があります。

幻覚を消したり、抑うつをやわらげたりするお薬は、患者さんのみならず、ご家族と一緒に生活する上で非常に役に立ち

ます。進行する病気ですし、環境の変化によっても症状が変わるので主治医はそれに合わせてお薬の調整をします。

＜周辺症状への工夫は？＞ 周辺症状はちょっと工夫をするとずいぶんよくなる場合があります。認知症になったからといって、いきなり彼岸の人になってしまうわけではありません。いずれの症状にも「わけがある」と考えるとわかりやすくなります。家にいるのに帰る、帰ると言い張る患者さんがいますが、そこは患者さんが生まれ育った自分の家でないのかもしれませんが、昔の写真を見て落ち着くこともあります。

体が弱った人も、年取った人も、そして認知機能が弱った人も、等しく守られる社会を目指したいものです。



出典：ひもとくシートのポイント、
認知症介護研究・研修東京センター、一部改題

国立長寿医療研究センター もの忘れ教室



介護・福祉・医療などのご相談は随時お受けしております!!

横浜市野庭地域ケアプラザ 地域包括支援センター TEL045-848-0111

※相談員が不在の時もありますので、事前に電話の上、ご相談にいらしてください。

野庭地域ケアプラザ デイサービス

デイサービスでしおり制作が好評です！



デイサービスの利用者様が作成した「しおり」を野庭地区センター受付に置かせて頂いています。
お立ち寄りの際はぜひ、お手に取って見てください。



制作のご様子です。



大変好評なので継続して作成していきます。



野庭地域ケアプラザ(1F)
と野庭地区センター(2・3F)は同じ建物(3階建て)にあります。

至 戸塚



野庭中央公園

スーパーたまや
サンドラッグ



遊水池



野庭中央公園

消防署

至 港南台



横浜市野庭地域ケアプラザ

電話 045-848-0111

FAX 045-848-0106

メール carepura-hp@himawarifukushi.or.jp

ホームページ

<http://www.himawarifukushi.or.jp/noba-care/index.html>